

12月定例市議会 一般質問

市政のここが聞きたい

12月定例市議会は、12月7日及び8日の2日間、12人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から、1人2質問まで要約して掲載しました。
なお、詳しい内容をお知りになりたい方は、市立図書館などで12月定例市議会会議録（3月上旬発行予定）をご覧になるか、インターネットで検索してください。

秋山 律郎

国保税の引き下げについて

【問】所得税の老年者控除の廃止や介護保険料の見直しにより住民の負担は増えている。国保税は1年間に必要な医療費を推計して算定しているが、平成17年度決算や本年度の予算の状況を考えると引き下げる余地があるのではないかと。国保税は平成19年度において、応益、応能の割合、税率等を全体的に見直すことにしており、医療費の動向を注視しながら、引き下げの方向で検討していきたい。（市長）

休日・夜間急患センターについて

【問】休日・夜間急患センターはどのような患者に対応する施設なのか。医師、看護師等の体制をどのように考え、患者数をどう見込んでいるのか。年間の赤字見込みはどうか。在宅当番

医制との調整をはじめ、医師会の協力が不可欠と思うがどうか。センターの医師が夜勤明けも続けて働くことになる、医療事故が起きかねない。市民は救急車で駆けつければ、すぐ応急処置をしてもらえる施設と誤解している。救急車も行けない医療ビレッジ方式（診療所の集合体）での計画は撤回し、実現可能な方策を考えたらどうか。

【答】この施設は休日・夜間における比較的軽症な患者の初期救急医療に対応する施設である。医師は全国から公募する医療ビレッジの医師が中心となり、センターを当直制で対応するが、夜間は医師1人、看護師2人、事務員1人の配置を計画している。患者数は1日、夜間で10人から12人を見込んでい

る。医療ビレッジ内の救急車の搬送については、受け入れができるようにしていきたい。



清音福祉センター内にある地域活動支援センター

村木 理英

障害者自立支援法について

【問】障害者自立支援法の施行に伴い、個人負担の

一部を自治体で負担するなど支援が進められているが、本市では独自の予算措置が定められていない。この制度を利用した場合、一例として月額7200円だったものが3万7200円となり、これを超えなければ補助が受けられず、サービスに回数制限もある。国は補正予算を計上すると発表した。国の措置を待つのではなく、本市独自に支援を行う考えはないか。

【答】支援法の取り組みは、サービス給付面では地域活動支援センターなど本市独自の事業を行っている。費用面では、市独自のものはなく、国が新たに減免措置を講じ、負担の上限額を4分の1に抑えると聞いている。この新しい制度でやっていく方がよいと思っている。（市長）

休日・夜間急患センターについて

【問】休日・夜間急患センターの患者数の見通しはどうか。主な設置目的が小児の急患を対象としたもの

山口 久子

医療問題について

【問】医療ビレッジ構想のアンケートは、政策決定のための手段に過ぎないと考えられるがどうか。この低い回収率11・8％は、説明が具体的になく返答のしようがなかったためではないか。この結果をどうとらえ、今後の方向性を出すのか。市民ニーズは医療施設ではなく、救急医療体制であり、いざというときの駆け込み寺を望んでいる。市民ニーズと市長の考えに大きな差があるのではないかと。10億円使うのであれば、医療充実のため他の方法もあるのではないかと。

【答】患者数は平日の夜間が10人程度、休日に70人程度を見込んでいる。休日・夜間急患センターのみを設置し、公設公営で勤務医を頼んで運営する場合、何千万、多ければ1億円以上の赤字となる。ランニングコストを抑えていく方法として医療ビレッジ方式で行いたい。優秀な医師が確保できるかどうかを見極めたうえで、対応したい。（市長）

ビレッジの診療所の経営については、市外に出ている患者を市内に食い止めること、市外からの患者も見込めることから、既存の開業医との共存共栄ができると思っている。（医療施設計画審議監）

きたい。この構想は、赤字を出さないため最善の策と考えているが、よいアイデアがあれば提言いただきたい。（市長）

中山間地域の生活道路について

【問】市の北部を中心とした中山間地域は、道幅が狭く、路肩が分らないような道が多い。年1回草刈りはしているが、大雨が降ったり風が吹いた後には、パトロールを行い危険物の除去をお願いしたい。この地域は少子・高齢化が市内でいちばん進んでおり、道路の安全対策に万全を期していただきたい。

【答】これらの地区の道路は、土木担当を代表とする「道路・水路を守る会」を組織し、草刈りや清掃を行っている。大雨時等のときにはパトロールを行うとともに、小規模工事



岡山市街地を走る低床式路面電車MOMO

津神 謙太郎

吉備線のLRT化について

【問】平成15年にJR西日本により、吉備線のLRT化（路面電車化）の可能性が示され、過去の議会答弁では関係機関に要望していくとのことであったが、その後どの程度検討しているのか。LRT化された富山港線では利用客が倍以上

を行うなど、柔軟に対応していきたい。（市長）

教育行政について

【問】いじめはどの子どもにも起こりうることを認識し、徹底して取り組む重要な課題である。本市の現状はどうか。教育委員会として学校とどう連携をとっていくのか。総社東・西中学校にはプールがないが、設置する考えはないか。（市長）